第3回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップを開催しました

2022年7月26日（火）19:00から、メディア交流館にて「第3回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップ」を開催しました。昨年度に市民の皆様にご意見いただいた荒尾駅・荒尾駅周辺地区の現状と課題、求められる機能・施設をもとに、**「10年後の荒尾駅周辺地区のまちづくりのコンセプト」**を検討しました。

1．当日の進め方

①前年度の振り返り

②10年後の荒尾駅周辺の姿をアイデア出し

＋

③グループごとに発表

2．グループワークでの意見のまとめ

A　新しい駅と新しいまち　お祭りワッショイ!!

ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化や市民から要望がある施設などを整備した新たな駅舎を整備するとともに、古くからのお祭りを復活させて、にぎわいのあるまちにしたい！

- ｲﾍﾞﾝﾄ
  - 県界綱引き大会を復活させる
  - 駅の構内で小中高生の学園祭を開催
  - 駅通りで毎月１回は「のきさき市」
- 祭り
  - 荒炎祭の代わりになる新しい駅前の祭り
  - 昔からのお祭りが続くまち
  - 地元の祭りをやってほしい
- 大正町のﾘﾉﾍﾞｰｼｮﾝ
  - 古い建物をﾘﾉﾍﾞｰｼｮﾝして若者が出店しやすい街
  - 空き地を使ってキャンプを自由にできる

B　人が立ち寄りたくなる何かがある駅前

ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化や東側出入口など利便性が向上した荒尾駅周辺に、のあそびが体験できる施設や定期的なｲﾍﾞﾝﾄ、人気のお店等がある、立ち寄りたくなるまちにしたい！

- ｲﾍﾞﾝﾄ
  - 地域の人と子どもが一緒に作業出来るｽﾍﾟｰｽ
  - 「のあそび」が体験できる
- にぎわい
  - 駅周辺に人がよく来るようなお店
  - 若者が集う場所へ
- 生活に結びついた駅
  - 人が歩きまわれる町
  - 海岸とのつながりを感じられる
  - 空家の活用、なりわいのある地区

C　駅周辺を魅力あるまちに～笑顔輝く荒尾駅～

お年寄りや若者、子どもなど多様な年代の人々が集まり、ｷｯﾁﾝｶｰやﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ、料理教室などイベントが開催され、魅力が溢れ、笑顔が輝くまちにしたい！

- 荒尾駅
  - 駅自体で楽しんで帰れるように
  - 駅をバリアフリーに
  - 駅に東口をつくる
- 歩道
  - 歩道を広げる　・きれいな街並み
  - 映えるような道にしたい
- 全体ｲﾒｰｼﾞ
  - 人に会いたい時に立ち寄れる
  - おじいちゃん、おばあちゃんと子どもが集える場所

D　キュンキュン♡ときめく街　ARAO

駅としての機能だけでなく、商業機能や国際交流機能などの他の機能を有して、特に、ﾚﾝﾀｻｲｸﾙや観光案内所など、観光に特化したときめくまちにしたい！

- 観光
  - 新しい公共交通
  - 観光バス、周遊バス
- お店
  - 駅舎の上に商業施設（地元産の野菜などの直売所　など）
- 映え！
  - 国際交流が出来る場所

E　笑顔あふれるにぎわいの街　あらお

芝生広場や大きな公園など多くの人たちが観光や休憩できる施設・場所を整備して、人がたくさんいるにぎわいのある街にしたい！

- にぎわい
  - ホテルを増やす　・飲食店　・スーパー
- 住む
  - 人がたくさんいる町
- 和み
  - 多くの人が休憩できる場所
- ｱｸｾｽ
  - バスがいつもいる駅

F　学生がたむろしたくなる駅!!

あらお海陽ｽﾏｰﾄﾀｳﾝとの連携を図りつつ、おしゃれで映える読書や学習などで立ち寄れる場所やｶﾌｪ、ｱﾊﾟﾚﾙｼｮｯﾌﾟがある学生がたむろしたくなるまちにしたい！

- あらお海陽ｽﾏｰﾄﾀｳﾝ
  - 他学校との交流
  - アウトドア施設
- ｻｰﾄﾞﾌﾟﾚｲｽ
  - ゆっくり過ごせる
  - 読書、学習

※サードプレイスとは、自宅でも職場でもない居心地のよい第3の場所のこと

- 駅舎
  - 学生が学校帰りに過ごせる場
  - おしゃれ、映え！

3．第4回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップについて

次回の第4回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップ（秋頃）では、今回の結果をもとに「理想の10年後の荒尾駅周辺地区の実現に自分たちが何ができるか（予定）」というテーマで市民の方々のご意見を伺う予定です。